

● 牛深ハイヤ大橋

USHIBUKA
HAIYA BRIDGE

天草の最南端に位置する牛深市。
深い入江と丘陵を有する牛深漁港は、
県内最大の漁港で古くから
カツオ漁の基地として栄えてきた。
ハイヤ大橋は、この漁港をまたぎ
水産加工基地のある後浜地区と、
従来の漁港施設のある台場地区を結ぶ
臨港連絡橋として計画された。
これにより、20分の時間短縮が可能となり
流通機能の充実が図られた。

Kumamoto Artpolis

K・A・P

くまもとアートポリス

熊本県 | くまもとアートポリス事務局
熊本県土木部建築課 〒862-70 熊本市水前寺6-18-1
☎096-383-1111(6215)

牛深の美しい風景を橋上から
楽しむことができるように
高低分離された歩車道をもつ。
橋梁側面のパネルは、
強風から歩行者を保護し、
橋桁を風圧から守る目的をもっている。





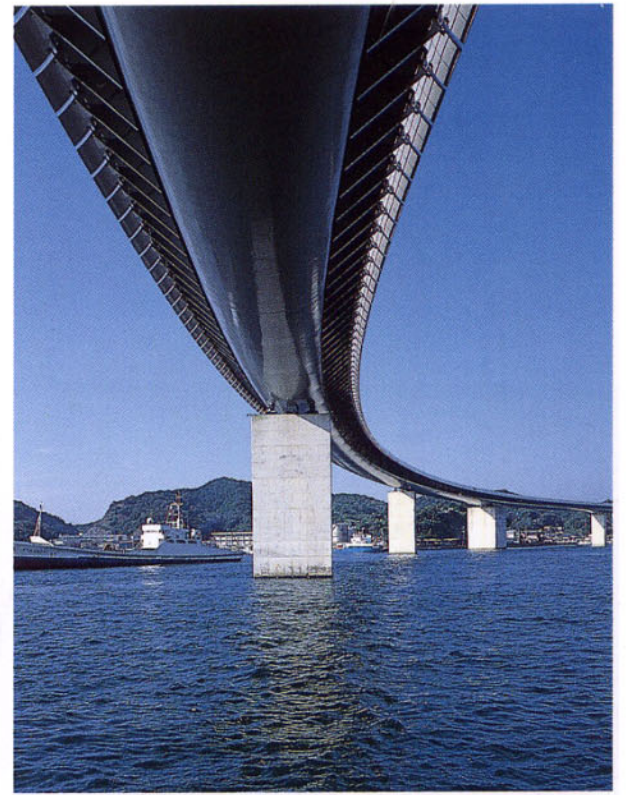
● 建築概要

細やかな地形の線と澄んだ水面の天草の風景のなかに、幅13.6m長さ883m桁高5mの橋をどうやって自然に溶け込ませるかが、デザインの探求の中心であった。構造表現の突出する吊り橋や斜張橋を避け、あえて単純な連続桁梁を選択したのは、最も簡潔な表現によって、一本の線として風景の中に橋を浮上させることで、自然の中に浸透させることを試みたからだ。風徐板と底面の曲線により、橋桁5mの高さは3分割され連続する光と影のリズムの形象となって、薄く細やかで表現豊かな曲線として海上の19mの空を横切る。上向きにつけられたフラップは、変化する空の光の色彩をその純白の面に反射し、繊細な鏡の群列のリズムとなる。

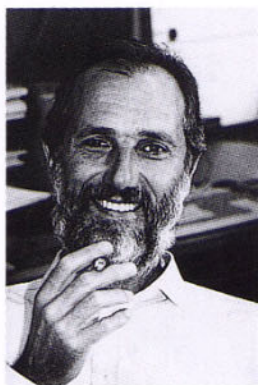
● 建築データ

名称/牛深ハイヤ大橋
所在地/熊本県牛深市
主要用途/臨港連絡橋
事業主体/熊本県
設計者/レンゾ・ピアノ+ピーター・ライス+岡部憲明+マエダ
施工者/日立造船、横河ブリッジ、五洋建設、若築建設、佐伯建設工業、大和建设、牛深建設、北時建設、共和舗道、高田塗装、不二電気工業、天草設備

橋長/883m
幅員/13.6m
構造/下部工 中空壁式コンクリート
上部工 7径間連続鋼床版曲線箱桁
施工期間/1991年11月~1997年8月
総工事費/12,200百万円



● 建築家プロフィール



レンゾ・ピアノ

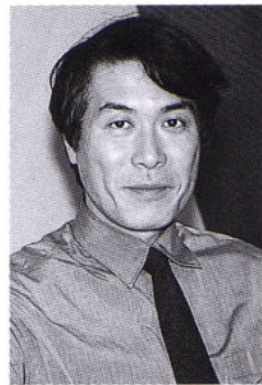
1937年 イタリア・ジェノバ生まれ
1964年 ミラノ工科大学建築学部卒業
1974年 フランコ・アルビーノ、ルイス・カーンに師事
1971~77年 リチャード・ロジャースと協働
1977~81年 ピーター・ライスと協働
1981年 ビルディング・ワークショップ(RPBW)設立

● 主な作品

ボンビドー・センター、メニル・コレクション美術館、関西国際空港旅客ターミナルビル、IBM移動パビリオン、パリ・フットボールスタジアム

● 受賞歴

レジオン・ド・ヌール勲章、RIBAゴールドメダル賞、稲盛財団京都賞、高松宮殿下記念世界文化賞、日本建築学会作品賞



岡部 憲明

(おかべ のりあき)

1947年 静岡県生まれ
1974年 ボンビドー・センター、IRCAM設計・建設に従事
1981~89年 RPBWパリのチーフアーキテクト
1988年 関空ターミナル国際コンペ優勝、RPBWJ設立
1994年 岡部憲明アーキテクトチャーネットワーク設立

● 主な作品

関西国際空港旅客ターミナルビル

● 受賞歴

日本建築学会作品賞



ピーター・ライス

(構造エンジニア)

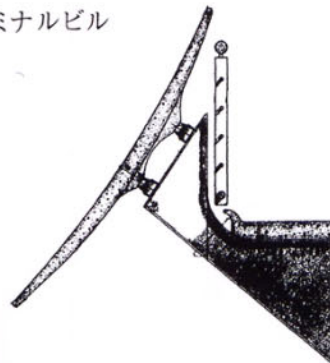
1935年 アイルランド・ダブリン生まれ
1956年 クイーン大学卒業、オープン・アラップ&パートナーズ入所
1960年 シドニー・オペラハウス担当
1973年 ボンビドー・センター担当
1978年 RFR(パリ)設立
1992年 ロンドンにて没

● 主な作品

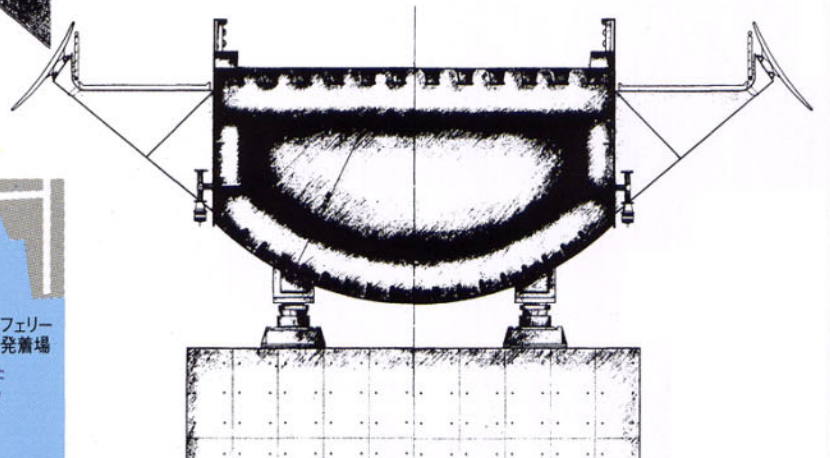
ボンビドー・センター、メニル・コレクション美術館、関西国際空港旅客ターミナルビル、IBM移動パビリオン

● 受賞歴

RIBAゴールドメダル賞



断面図



PHOTO/石丸捷一、KAP事務局